

高収益作物次期作支援交付金実施要領別紙1-1の第3の4に係る新品種

2020.7.20

栃木県

品目名	栃木県が育成した新品種、栃木県が地域農業の実情を踏まえ重要と位置付けている品種	備 考 〔 本県育成品種の登録日等 重要と位置付けている理由 〕
いちご	栃木i27号 (スカイベリー)	本県育成品種：H26.11.18 品種登録
いちご	栃木i37号	本県育成品種：H30.11.13 出願公表
いちご	なつおとめ	本県育成品種：H23.3.28 品種登録
いちご	栃木iW1号 (ミルクベリー)	本県育成品種：H30.4.24 出願公表
にら	ゆめみどり	本県育成品種：H29.2.22 品種登録
うど	栃木芳香1号	本県育成品種：H24.4.25 品種登録
うど	栃木芳香2号	本県育成品種：H24.4.25 品種登録
あじさい	きらきら星	本県育成品種：H27.4.14 品種登録
あじさい	パラソルロマン	本県育成品種：H30.11.13 出願公表
あじさい	エンジェルリング	本県育成品種：R1.11.19 出願公表
あじさい	プリンセスリング	本県育成品種：R1.11.19 出願公表
りんどう	栃木r2号 (るりおとめ月あかり)	本県育成品種：H27.9.10 出願公表
りんどう	栃木r3号 (るりおとめ星あかり)	本県育成品種：H27.9.10 出願公表

高収益作物次期作支援交付金実施要領別紙1-1の第3の4に係る新技術

2020.7.20

栃木県

品目名	栃木県が地域農業の実情を踏まえ重要と位置付けている新技術	備 考
いちご	クラウン部温度制御技術	<p>【新技術の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 株元に設置したチューブに冷水を流し花芽の形成を安定させる。また、厳寒期には温水を流し葉の展開を早めることにより増収を図る。 <p>【交付条件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 秋から厳寒期までチューブを常設すること。
いちご	高濃度炭酸ガスによるハダニ類防除技術（すくすくバックシステム、ポリシャインSB等）	<p>【新技術の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定植前の苗を、高濃度の炭酸ガスで処理することにより、寄生したハダニ類を防除する。 <p>【交付条件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 炭酸ガス処理を行った苗の作付面積を交付対象とする。
いちご トマト きゅうり	炭酸ガス日中施用技術	<p>【新技術の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 換気の少ない厳寒期には、外気よりもハウス内の炭酸ガス濃度が低くなる。そこで、日中に炭酸ガスを発生させ400ppmを確保することにより、光合成が盛んになり炭水化物が増加する。 <p>【交付条件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プロファイnder等の環境モニタリングを行うこと。
いちご トマト きゅうり なす アスパラガス にら	赤色ネット利用による害虫防除	<p>【新技術の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 赤色系防除ネットを利用するとアザミウマ類の侵入防止効果が高い。 <p>【交付条件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県が作成した品目別のIPM実践マニュアルを実践すること。
花き全般	炭酸ガス日中施用技術	<p>【新技術の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 換気の少ない厳寒期には、外気よりもハウス内の炭酸ガス濃度が低くなる。そこで、日中に炭酸ガスを発生させ400ppmを確保することにより、光合成が盛んになり炭水化物が増加する。
花き全般	環境モニタリング技術（プロファイnder、みどりクラウド等）	<p>【新技術の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設内環境（温度、湿度、CO₂等）を経時的に測定し、パソコンやスマートフォン画面で見ることで、作物の生育に適した環境に制御する。

花き全般	LED電照	<p>【新技術の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トルコギキョウでは遠赤色光による生育促進効果、洋蘭では遠赤色光による生育抑制や高温障害軽減等の試験研究結果がある。
花き全般	赤色ネット利用による害虫防除	<p>【新技術の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤色系防除ネットを利用するとアザミウマ類の侵入防止効果が高い。
		<p>【交付条件等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県が作成した施設花き類IPM実践マニュアルを実践すること。
なし	根圏制御栽培	<p>【新技術の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盛土に苗木を植え根域を制限することで、2年目から収穫が可能で高密度による高収量が得られる。土壌病害の影響も回避できる。
なし	ジョイント栽培	<p>【新技術の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主枝を一方向へ延長し、先端部を隣接樹に接ぎ木して連結し、複数樹を直線状の単純な樹形にする仕立て法。
なし	新一文字型樹形	<p>【新技術の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・棚下50cmの高さで主枝を二分し、棚下15cmの高さに2本の主枝を一文字状（直線状）に配置し、主枝の両側に肋骨状に側枝を配置した樹形。